



### 今年もイワナの稚魚を放流

7月18日、萱場地区にある杉の入沢橋の下で、月橋小の子どもたちがイワナの稚魚を放流しました。この日放流されたイワナの数はおよそ4,000匹。この活動は、子どもたちが川の生物のことや環境保全などを学ぶようにと、地域の方々や小国川漁業協同組合の協力を得て毎年行われているものです。子どもたちは、「元気に大きく育てほしい」「たくさん放流できて良かった」などの感想を話してくれました。

### 町に伝わる芸能文化を披露

6月17日、山形市七日町大通り路上ステージにおいて、日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」が開催され、県内各地域から民俗芸能団体12団体が集いました。開催6年目を迎える今年は、最上町を代表して瀬見温泉伝統芸能保存会太鼓部会（義経・弁慶太鼓）が出演しました。大堀小6年の東海林歩さん（瀬見二）は「太鼓を叩ききった後の達成感がたまらない」と話してくれました。なお、当日出演した映像は、「ふるさと塾アーカイブス」ホームページにて秋頃までに公開される予定です。



### 子育ての相談窓口をスタート！

子育て世代包括支援事業が、6月6日から子育て支援センターひまわりでスタートしました。これは、妊娠・出産・子育てにおける様々な悩み・質問・相談にお答えする相談窓口です。子育て相談員（助産師・保育士・保健師等）が、相談内容に応じて関係機関と連携してサポートします。お気軽に電話にてご相談ください。

相談受付：月・火・金の9時から11時30分まで  
電話番号：080-1692-4478

### 最上町小中合同ボランティアが清掃活動

7月3日、「最上町小中合同ボランティア」が行われました。この活動は、最上中の生徒が中心となり、地域の方々や町内6校の小学校の児童と共に、自分の住む地域のごみ拾いや草むしりなどの地域貢献活動を行なっているものです。16回目となる今年は、あいにくの雨模様でしたが、カッパを着てのごみ拾いや、公民館の掃除を行いました。中学生は作業の仕方などを丁寧に小学生に教えながら、力を合わせて清掃活動に取り組んでいました。



### 森から生まれた楽器の製作・演奏体験

6月下旬に高知県「木と音の会」代表である泉谷貴彦氏が来町し、富沢小学校5・6年生（15名）を対象に、最上町の木を取り入れた楽器製作と演奏指導の授業を約2週に亘り実施しました。やまがた緑環境税活用事業の一環として行われたこの授業は、楽器製作では木のぬくもりを感じながらグループごとに楽器を組み立て、子どもたちの木に対する愛着を育みました。演奏練習では、複数パートからなるハーブ演奏を主体に、木の太鼓やリコーダーなどの楽器を取り入れた内容で行われました。「森の楽器の会」の皆さんによるサポートもあり、様々な演奏バリエーションにも柔軟に対応していく子どもたちの姿に、講師である泉谷先生も驚いた様子でした。10月29日（日）の文化祭では、自ら製作に関わった楽器を使った発表が予定されています。まるで森から語りかけてくるかのような幻想的な演奏に、皆さんご期待ください。



### 新庄神室産業高校生が「農家体験学習」を実施

7月4日から7日まで、新庄神室産業高等学校2年生の生徒8名が、最上町で農家体験学習を実施しました。町の認定農業者である4名の方々が受入農家となり、3泊4日で体験を行いました。生徒の皆さんは、本格的な農作業に苦戦しながらも一生懸命に作業に取り組み、農業のやりがいや楽しさを学びました。また、農作業以外の日常生活を農家の皆さんと共にしながら親交を深めることで、多くのことを学んだ貴重な4日間でした。



▲受入農家の方々 写真2列目左から  
小野貴之さん(立小路) 菅嶋静子さん(東法田)  
奥山秀一さん(立小路) 二戸洋子さん(大堀)



### 最上町青少年育成町民会議総会を開催

6月20日、中央公民館2階みどりホールにて、平成29年度最上町青少年育成町民会議総会が開催されました。青少年育成町民会議は、青少年の健全育成のために活動している団体です。総会では、平成28年度の活動報告、平成29年度の活動計画について協議が行われた後、平成28年度に助成金を交付された富沢地域 地域おこし研究会より松根集落で行われた「ちびっこ田植え体験学習」についての活動報告がありました。